

# USDM の支援ツール(仮名)

---

取扱説明書 DRAFT

## 目次

1 章	変更履歴 .....	6
2 章	本書について .....	6
3 章	対象読者 .....	6
4 章	全体 .....	7
5 章	起動と終了 .....	7
5.1	起動.....	7
5.2	終了.....	7
6 章	画面構成 .....	8
6.1	メイン画面.....	8
6.2	メニューバー .....	9
6.2.1	メインメニュー.....	9
6.2.2	メッセージ欄.....	10
6.2.3	表示言語切替.....	10
6.3	ファイルタブ .....	11
6.4	データペイン .....	12
6.4.1	データ行 .....	12
6.4.2	カーソル .....	13
6.5	コンソール.....	14
6.5.1	Split サイズ変更.....	14
6.5.2	メッセージ消去.....	15

6.5.3	コンソールを閉じる .....	15
7 章	基本操作 .....	16
7.1	上キー .....	16
7.2	下キー .....	16
7.3	RollUp キー .....	16
7.4	RollDown キー .....	16
7.5	HOME キー .....	16
7.6	END キー .....	16
7.7	ALT+F1 キー .....	16
7.8	ALT+F2 キー .....	16
7.9	ALT+F3 キー .....	17
7.10	ALT+左キー .....	17
7.11	ALT+右キー .....	17
7.12	その他のショートカットキー .....	17
8 章	機能詳細 .....	18
8.1	New file .....	18
8.2	File open .....	18
8.3	File save(json) .....	18
8.4	File save(xml) .....	18
8.5	File close .....	18
8.6	USDМ Lint .....	18

8.7	Console.....	18
8.8	Undo.....	18
8.9	Redo .....	18
8.10	Add .....	18
8.11	Remove.....	19
8.12	Copy.....	19
8.13	Paste .....	19
8.14	Cut .....	19
8.15	Manual.....	19
8.16	Refresh .....	19
8.17	Version.....	19
9 章	参考資料 .....	19

#### [商標]

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

"Google Chrome"は、Google Inc の商標です。

#### [使用条件]

本書に関する著作権を含む一切の権利は、Affordd T15 研究会(以下、当組織)が管理または保有しています。

私的使用その他法律によって明示的に認められる範囲を超えて使用(複製、改変、ネットワーク上へのアップロード、掲示、送信、頒布、ライセンス、販売、出版などを含む)することは、事前に当組織の文書による許諾がない限り、禁止します。

当組織および当組織の関連組織は、本書の内容が正確であるかどうか、有用なものであるかどうか、確実なものであるかどうか、皆様の使用目的に合うものであるかどうか、第三者の権利を侵害するものでないかどうか、安全なものであるかどうかなどにつき、一切保証するものではありません。

当組織および当組織の関連組織は、法令により免責が認められない場合を除いて、皆様が本書を使用されたこと、もしくはご使用になれなかったことによって生じるいかなる損害について責任を負うものではなく、また、本ガイドラインの変更によって生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。

## 1章 変更履歴

日付	内容	Author
2019/6/1	Draft 版	Affordd T15 研究会

## 2章 本書について

本書は、USDМ の支援ツール(仮名)の操作方法について説明致します。

## 3章 対象読者

本書の対象読者は、USDМ による要求仕様書を作成する方を対象と致します。

また、以下の前提条件が必要となりますのでご注意ください。

- ・ソフトウェア開発における「要求仕様」「設計」「テスト」の知識
- ・USDМ に関する知識

## 4章 全体

USDМ の支援ツール(仮名)は、USDМ を使った要求仕様書を作成及び編集する Web アプリケーションソフトウェアです。ユーザーが USDМ の支援ツール(仮名)を使用することで生成したデータ(以降、USDМ データ)を USDМ Lint 機能に通すことで初歩的な書式ミスに気づくことができる為、USDМ 初学者の知識向上及び第三者レビューの質の向上に寄与します。また、USDМ データを XML や Json といったテキスト形式でファイル保存することで、一般的な Diff ツールを使い変更前後の要求仕様を目視確認できます。これは従来の表計算ソフト等で生成されたバイナリデータの Diff を取得する労力を軽減する効果が期待できます。

USDМ の支援ツール(仮名)は Web アプリである為、PC/スマホ/OS 等の諸条件に制限されずに動作します。また、推奨される Web ブラウザは、Google Chrome です。

## 5章 起動と終了

### 5.1 起動

Web ブラウザを起動し、以下の URL を開くと起動します。

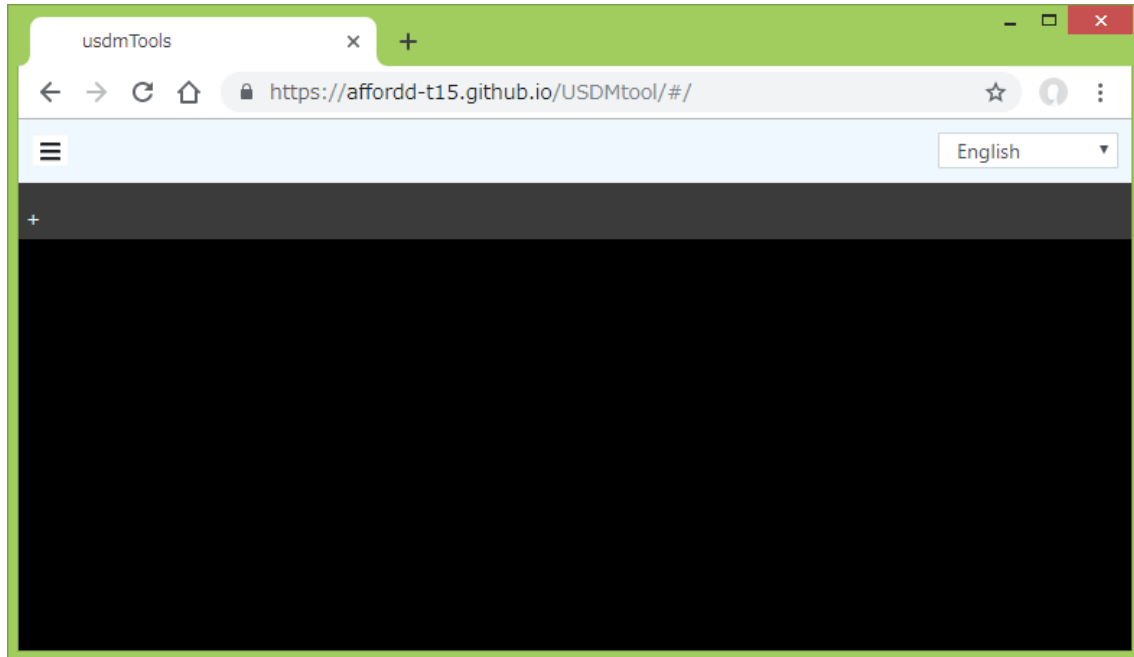
<https://affordd-t15.github.io/USDМtool/index.html>

### 5.2 終了

Web ブラウザを閉じると終了します。

## 6章 画面構成

### 6.1 メイン画面



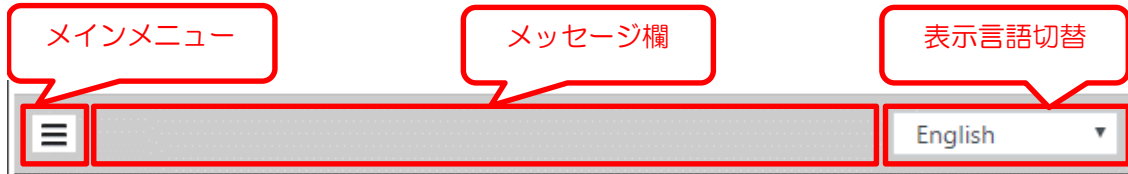
上図の画面は Windows 環境下で動作させた時のメイン画面です。

メイン画面は以下のとおり、構成分割されております。

- 1) メニューバー
- 2) ファイルタブ
- 3) データペイン



## 6.2 メニューバー



メニューバーは、上図のとおり 3 つに分かれています。

### 6.2.1 メインメニュー

選択すると機能一覧を表示します。

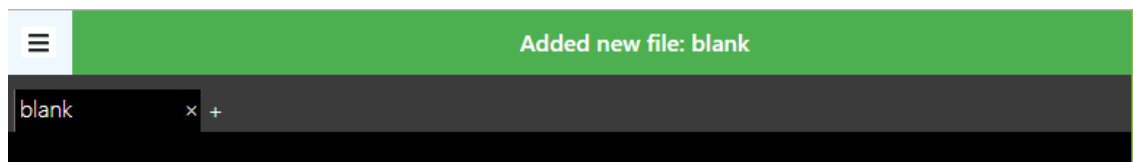
機能一覧から使用できる機能は以下のとおりです。

各機能の詳細については後述する章を参照してください。

章	機能名	日本語表記
	New file	新規作成
	File open	開く
	File save(json)	保存(json)
	File save(xml)	保存(xml)
	File close	閉じる
	USDМ Lint	USDМ Lint
	Console	コンソール
	Undo	元に戻す
	Redo	やり直す
	Add	追加
	Remove	削除
	Copy	コピー
	Paste	貼り付け
	Cut	切り取り
	Manual	マニュアル
	Refresh	リフレッシュ
	Version	バージョン

### 6.2.2 メッセージ欄

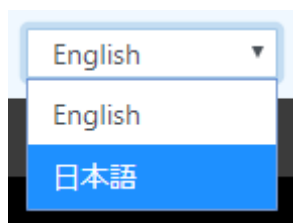
ファイル開閉時や、エラーが起きると、一定時間メッセージが表示されます。



上図は、新規作成でタブを 1 つ作成した直後の図。

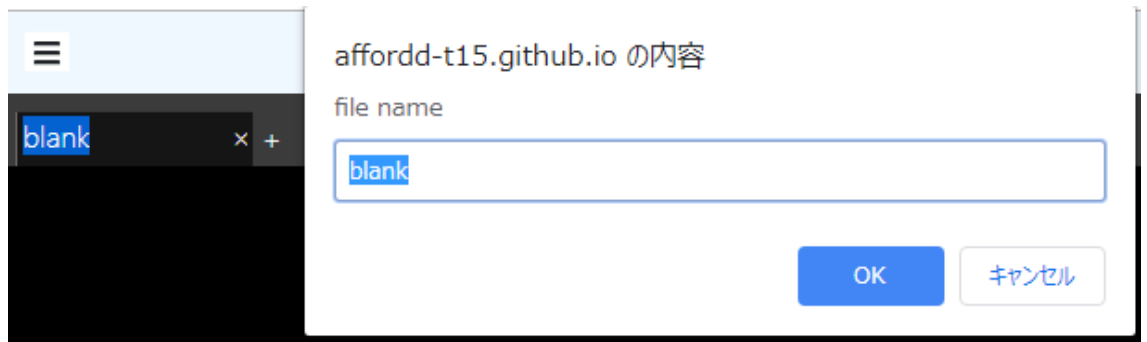
### 6.2.3 表示言語切替

英語と日本語表記を切り替えることができます。



### 6.3 ファイルタブ

ファイル名が表示されます。ファイル名をダブルクリックすると編集用 POPUP ウィンドウが開き、ファイル名を編集することができます。



ファイル名の × ボタンを押下すると、該当するタブが閉じます。

ファイルタブの右横に表示されている + ボタンを押下すると、新しいタブが 1 個追加されます。

1 度に開くことができるファイルタブの数は最大で 16 個までに制限されています。

## 6.4 データペイン

ファイルタブに対応するデータが表示される領域です。

1	- グループ	ROOT.0		
2	- 要求仕様	ROOT.1	あいうえお	
3	- 要求仕様	ROOT.1		
4	- 要求仕様	ROOT.1		
5	- 要求仕様	ROOT.1		
6	- 要求仕様	ROOT.1		
7	- 要求仕様	ROOT.1		
8	- 要求仕様	ROOT.1		
9	- 要求仕様	ROOT.1		
10	- 要求仕様	ROOT.1		
11	- 要求仕様	ROOT.1		

Add、Remove、Copy、Paste、Cut を行うことで、データ行を追加したり消したりといった一連の編集操作ができます。

### 6.4.1 データ行

#### 1) 行番号

行を追加すると自動的にデータの行番号が表示されます。

編集はできません。

#### 2) ツリー開閉

「-」や「+」を押下すると、階層を開閉できます。

1	+ グループ	ROOT.0		
---	--------	--------	--	--

1	- グループ	ROOT.0		
2	- 要求仕様	ROOT.1	あいうえお	
3	- 要求仕様	ROOT.1		
4	- 要求仕様	ROOT.1		
5	- 要求仕様	ROOT.1		

## 3) 区分

グループ、要求仕様、理由、説明の区分をマウスのクリックで切り替えることができます。

1	- グループ	ROOT.0		
2	- 要求仕様	ROOT.1	あいうえお	
3	- 理由	ROOT.1		
4	- 説明	ROOT.1		
5	- 要求仕様	ROOT.1		
6	- 理由	ROOT.1		
7	- 要求仕様	ROOT.1		
8	- 要求仕様	ROOT.1		
9	- 説明	ROOT.1		
10	- 要求仕様	ROOT.1		

## 4) シンボル

10 文字までの簡単なシンボルを記入しておけます。

## 5) テキスト

各区分に対応するテキスト文書を編集できます。

## 6.4.2 カーソル

## 1) 赤カーソル

マウスカーソルが当たっているデータ行を示します。

## 2) 青カーソル

現在選択されているデータ行を示します。

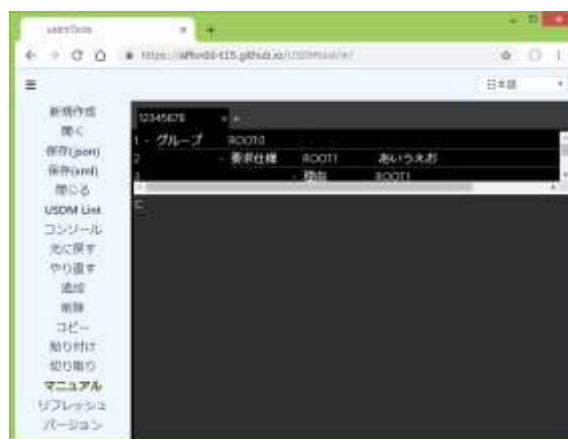
## 6.5 コンソール



機能一覧から Console(コンソール)を選択すると、コンソールウィンドウが開きます。

ここには、USDМ Lint で得られた結果などが表示されます。

### 6.5.1 Split サイズ変更



コンソールウィンドウは、Split バーをマウスで Drag&Drop することで縦の大きさを変更できます。

### 6.5.2 メッセージ消去



コンソールウィンドウの左上にある「C」を選択すると、コンソールウィンドウに表示されているメッセージを全消去できます。

### 6.5.3 コンソールを閉じる

機能一覧から Console(コンソール)を選択するか、コンソールウィンドウの右上にある「X」を選択すると、コンソールウィンドウが閉じます。

## 7章 基本操作

### 7.1 上キー

カーソルを 1 行上に移動させます。移動前のカーソル位置が先頭行の時、カーソルは移動しません。移動前のカーソル位置が画面の最上位にあり、且つ、画面の最上位より上に表示できるデータがある時、画面が 1 行下スクロールし新たなデータが画面の最上位に表示され、スクロール前に表示されていた画面の最下位にあったデータは画面上から消えます。

### 7.2 下キー

カーソルを 1 行下に移動させます。移動前のカーソル位置が最終行の時、カーソルは移動しません。移動前のカーソル位置が画面の最下位にあり、且つ、画面の最下位より下に表示できるデータがある時、画面が 1 行上スクロールし新たなデータが画面の最下位に表示され、スクロール前に表示されていた画面の最上位にあったデータは画面上から消えます。

### 7.3 RollUp キー

カーソルを 10 行上に移動させます。

### 7.4 RollDown キー

カーソルを 10 行下に移動させます。

### 7.5 HOME キー

カーソルを先頭行へ一気に移動させます。

### 7.6 END キー

カーソルを最終行へ一気に移動させます。

### 7.7 ALT+F1 キー

青カーソルがある行の区分を変更します。

### 7.8 ALT+F2 キー

青カーソルがある行のシンボルを編集状態にします。



## 7.9 ALT+F3 キー

青カーソルがある行のテキストを編集状態にします。

## 7.10 ALT+左キー

青カーソルがある行の階層を1つ左へ変更します。

## 7.11 ALT+右キー

青カーソルがある行の階層を1つ右へ変更します。

## 7.12 その他のショートカットキー

操作	説明	機能
ALT+M	機能一覧を開いたり閉じたりします。	メインメニュー選択
ALT+N	ファイルタブを 1 個新規生成します。	New file
ALT+O	任意のファイルを開きます。	File open
ALT+S	保存(json)で現在表示されているファイルタブのデータをファイル保存します。	File Save(json)
ALT+A	保存(xml)で現在表示されているファイルタブのデータをファイル保存します。	File Save(xml)
ALT+W	現在表示されているファイルタブを閉じます。	Close
ALT+K	コンソールウィンドウを開いたり閉じたりします。	Console
ALT+H	操作マニュアルを開きます。	Manual
ALT+Z	処理を一つ元に戻します。	Undo
ALT+Y	元に戻した処理を一つ進めます。	Redo
ALT+L	USDМ Lint を実行します。	USDМ Lint
ALT+V	コピーしたデータを貼り付けます。	Paste
ALT+E	ファイルタブ名の編集を起動します。	ファイルタブ名編集
ALT+R	青カーソルのデータ行を削除します。	Remove
ALT+C	青カーソルのデータ行をコピーします。	Copy
ALT+X	青カーソルのデータ行を切り取ります。	Cut
ALT+;	青カーソルのデータ行の配下ツリーを開閉します。	ツリー開閉
ALT+RollUp	選択中のファイルタブを切り替えます。	ファイルタブ選択
ALT+RollDown	選択中のファイルタブを切り替えます。	ファイルタブ選択

## 8章 機能詳細

### 8.1 New file

ファイルタブを 1 つ新規作成し、同時に画面上に表示します。

### 8.2 File open

任意のファイルを選択し、ファイル情報を読み出し、画面上に表示します。

### 8.3 File save(json)

現在選択されているファイルタブのデータを json 形式で保存します。USDМ Lint でエラーがあっても保存を完了することができ、作業状態を維持できます。

### 8.4 File save(xml)

現在選択されているファイルタブのデータを xml 形式で保存します。USDМ Lint でエラーが検出されるデータ内容の時、保存できません。

### 8.5 File close

現在選択されているファイルタブを閉じます。

### 8.6 USDМ Lint

要求仕様書の書式チェックを実行します。チェック結果はコンソールウィンドウを開くと参照できます。

### 8.7 Console

USDМ Lint の実行結果が記録されています。

### 8.8 Undo

処理を一つ戻します。

### 8.9 Redo

元に戻した処理を一つ進めます。

### 8.10 Add

青カーソルが表示されている行の直下に、新たなデータ行を挿入します。

### 8.11 Remove

青カーソルが表示されている行を削除します。

### 8.12 Copy

青カーソルが表示されている行の情報を内部メモリへコピーします。

画面上の変化はありません。

### 8.13 Paste

内部メモリに保存されているデータ行を、青カーソルが表示されているデータ行の直上へ貼り付けます。

内部メモリが初期状態(empty)の時は Paste を使えません。

### 8.14 Cut

青カーソルが表示されているデータ行を内部メモリへコピーし、同時に画面上から削除する。

### 8.15 Manual

操作マニュアルを開きます。

### 8.16 Refresh

スーパーリロードを実行し、Web アプリのバージョンを最新にします。

### 8.17 Version

Web アプリのバージョン情報を表示します。

## 9章 参考資料

---

[1] USDМ 小冊子\_リリース版\_ver1.0\_基礎編

[2] USDМ 小冊子\_リリース版\_ver1.0\_簡単編